

日光市公共施設適正化推進市民委員会会議録

件名	令和4年度第2回日光市公共施設適正化推進市民委員会会議		※13回目会議
日時	令和5年3月30日 14:00～15:00		作成日 令和5年3月31日
場所	日光市役所 本庁舎2階 中会議室203		記録者 資産経営課 福田
出席者			
<日光市> 資産経営課長：植木 資産経営課公共施設マネジメント係補佐：高野 資産経営課公共施設マネジメント係：星、江連、福田		<市民委員会メンバー> 岸野 稔（委員長） 佐々木 真理子 高梨 登起子 稲垣 保男 大島 一比古 沼尾 綾乃 <アドバイザー> 西尾 真治	
議事内容			
<p>■配布資料 令和4年度第2回日光市公共施設適正化推進市民委員会次第、資料1、資料2（非公開）、名簿</p> <p>■議事録</p> <p>1. 開会</p> <p>2. 委員長あいさつ（委員長） 「皆様、こんにちは。令和4年度第2回の会議ということで、資料を見ると、市の方も頑張っていて多くのことを行っているようです。会議の中でそれらの詳細について説明があると思われまますので、皆さんの忌憚のない意見等をいただければと思います。それから、アドバイザーの西尾先生もお忙しい中ありがとうございます。それでは、会議を始めたいと思いますので、よろしく願いいたします。」</p> <p>3. 議 事</p> <p>○委員長 「それでは、これより会議次第に基づき議事に入ります。」</p> <p>（1）令和4年度公共施設マネジメントの進捗状況について 事務局より資料を用いて説明。</p> <p>○委員長 「ただいまの説明内容につきましてご質問、ご意見等がございましたらお願いいたします。」</p> <p>○委員1 「資料1のスライド12番、小百小学校の3事業者からの提案が不採択となっているが、その具体的な理由は何か説明いただきたい。」</p> <p>○事務局 「3者からの提案内容については、各事業者の知的財産ということで公表はできない。3者とも、市が求めている基準に合致しなかったことが理由となる。」</p> <p>○委員1 「市の方の基準となる部分は、主に賃貸料などになるのか。」</p> <p>○事務局 「そういったものではなく、提案自体の内容を審査する基準に合致しなかったということになる。」</p>			

議事内容

○委員 1

「1点、2点などではなく、総合的に基準がたくさんある中での判断ということによいか。」

○事務局

「地域との連携なども加味する基準でもあり、提案内容が市の審査基準を十分に満たさなかった。」

○委員 1

「今回はこのような結果となったが、せつかく3者から申し込みがあったのであれば、基準を分かりやすく伝える工夫をした方がいいのではと思う。2つ目として、スライド17番の高畑運動公園について、施設のオープンは2月であり、維持管理費の負担減少や賃料など採算状況はこれから決まるということによろしいか。」

○事務局

「市が所有していた際は草刈などの維持管理費がかかっていたが、令和4年度に関しては既に事業者の方で管理いただいているので、維持管理に係る市の負担は発生していない。土地の賃貸借料に関しても、令和4年度分もいただくこととなっている。」

○委員 1

「維持管理費が減少と土地の賃貸借料の納付によって、市として収益上メリットが既に発生していることが分かった。民間事業者の方はこれからの営業によると認識させていただく。」

○委員 2

「2点ほど質問させていただく。なぜこのマネジメントを始めたかというのは、令和8年に余剰金がなくなり、令和9年に収支が逆転してしまうので対策を進めるということで始まったものと認識している。実行計画は令和5年度をもって第1期計画が終わり、令和6年度から第2期計画に入る。今回資料では個々の取組の努力は分かるが、全体的な数値が分からない。第1期計画に対してどの程度達成できているのか、第1期計画の目標27%削減を達成するのに残り1年でどのようにしていくのかが見えてこないのが残念である。その辺りを見えるように資料を作成してほしいのが1点である。」

「2点目として、文化会館の関係で非公開地内の市有地を適するとし、敷地面積が狭いため一部用地を買収して建てる要旨は分かった。800人程度のホールでは、どの規模のイベントを呼び込めるのか伺いたい。個人的には非公開適地と考えているが、検討委員会でのいきさつなども伺いたい。」

○事務局

「マネジメント実行計画の進捗状況について、令和3年度の状況は11月17日の第12回会議でご案内させていただいた。令和4年度の数値については、次回の会議で進捗状況をお示ししたい。第2期実行計画は、第1期はどうだったのかを検証した上で策定することを考えているので、可能であれば策定の段階で検証した部分についてもお知らせできればと考えている。」

○委員 2

「ちなみに市の収支の逆転は延びたのか伺いたい。マネジメントの取組によって先延ばしになってい

議事内容

るものなのか。」

○事務局

「役所全体での取組の結果によるものなので、マネジメントの取組による部分は判断できない。令和4年度においては光熱費の高騰による支出が増えたこともあり、マネジメントで得た収入が相殺されている事情もあるとご理解いただきたい。2点目の施設のホールの規模について、興行を呼ぶことを手段とする場合は1,000～1,500席がないと成り立たないと言われている。800席というのは、今後人口が減少していく流れの中で市民が利用する文化会館を手段として考え、その中でも日光市の1学年が一堂に会することができる規模を考えて設定している。非公開と非公開の2箇所を候補としているが、まだどちらかに決定したわけではない。今後、基本構想を考えていく中で決めていきたいと、議会と協議しながら進めていければと考えている。」

○委員1

「スライド15番のESCO事業のグラフについて、再度簡潔な説明を願いたい。」

○事務局

「通常、市が改修を実施した場合、維持管理費・電気代・機器更新費用が1年度に集中することとなる。しかし、民間事業者によるESCO事業を導入した場合、1年度に集中していた費用が契約期間の中で分散され、市の財政負担の平準化が可能となることを示したものである。」

○委員2

「スライド22番の交流促進センターについて、休止していた施設を若杉学級の施設として活用していくことは理解した。旧日光地域は、広い会議スペースがない。日光行政センターの会議室も中途半端な広さで、ホテルなどのコンベンションもお客の都合によっては入れないことがある。どこで会議をするのかについては、岸野委員長も苦慮しているところである。少しでも広いところを考えると交流促進センターの1階広間が思い浮かぶのだが、その辺は利用することができるのか伺いたい。」

○事務局

「確認をしたわけではないが、若杉学級は学校であり、外部の方の利用は厳しいと思われる。」

○アドバイザー：西尾

「4点ほどコメントをさせていただきたい。」

1点目が、委員2のおっしゃる通り、全体がどうなっているかが気になる。これから第2期に移っていく上で、第1期の総括をしっかりと行う必要がある。令和4年度の決算を待つと次期計画にうまく繋げることができないと懸念される。決算を待たずに第1期の総括を行い、その結果を本委員会に諮った上で、第2期に反映することが望ましい。令和5年度の1年間で計画策定となるので時間的に厳しいところと思うが、計画のPDCAを回していくことが重要と考えるため、検証と結果の反映を丁寧に行っていただきたい。

2点目が、文化会館の取り組みで、これは大きなチャレンジと思う。この取り組みが今後の日光全体の取り組みの試金石になる。統合した施設が過剰なものになると意味がなく、それが新たな負担

議事内容

となることもあり得てしまうため、統合したものが過剰なものとならないようにチェックされた。また、統合した後の跡地の活用の中で、跡地に新たな施設を作ると統合した意味がなく、施設がまた増えてしまうことになるため、注意してほしい。

3点目が、小来川の取り組みで、重要な取り組みと思う。文化会館のように施設分類毎に検討する手法もあれば、小来川のように様々な種類の施設を地区全体としてどう取り組んでいくのかという手法もある。後者の手法に関してはしっかりとできている自治体は、まだ全国的にも少ない。地区全体の活性化を総合的な視点から考えていくことは非常に重要なことであり、小来川の地区の活性化に繋げていく取り組みが、他の地域に波及していくものと考えている。

最後に、民活の取り組みについても頑張っていると感じる。トイレへの広告事業も実施しており、様々な事業を実施している印象を受ける。ただ、民間活力の活用については、民間がメリットを受けやすい場所はどんどん埋まっていくが、後になればなるほど少なくなってくる。令和4年度のショートリスト採択がない状況でもあり、そういったことも踏まえて考えていく必要があると思われる。一方で、コロナ後に客が戻ってきていることもあり、これをチャンスと捉え、新たな展開を考えることも必要である。トライアルサウンディングの視点も有効であり、民間の提案をただ待っているのではなく、行政側もアプローチしていき、民間と一緒に積極的に取り組んでいくことが重要と思われる。」

○委員長

「他にご質問やご意見等ございませんでしょうか…ご質問、ご意見等がないようですので、以上で、本日用意された議題につきましては、終了とさせていただきます。進行につきましては事務局にお返しいたします。」

○事務局

「西尾先生からご助言いただいたマネジメント計画実行計画（第1期）の検証について、令和4年度と令和5年度の2年間において調整を進めており、例年よりも早めに結果が出てくると想定しております。次回の会議の際にはお示しができると思われますのでよろしく願いいたします。」

4. その他

- ・現委員での最後の委員会であることを報告。
令和5年6月30日に3年間の任期満了。新たな委員を選定し、委員会を7月以降に開催予定。
- ・異動者挨拶

○事務局

「では、以上を持ちまして令和4年度第2回公共施設適正化推進市民委員会を終了させていただきます。」

以上